

スマートシティの実現に向けたニーズ提案書

様式2

提出年月日: 令和2年7月28日

団体名: 富士川経済同友会

○提案内容

(1)実現したい都市のビジョン

私たちのふるさと、山梨県富士川町は中山間地域の中に集落が点在し、少子高齢化が進んでいる地域です。

そのため、高齢者等移動弱者の交通手段を増やしていくことが課題となっています。

そこで、私たち富士川経済同友会では、国における「スーパーシティ」構想を見据えて、IoT・AIを活用した利便性の高い交通モビリティを整備し、高齢者等移動弱者の通院や買い物等の移動手段の確保、ドローンの導入による物流、医療・福祉の充実、観光・地域の活性化に取り組み、中山間地域における自動運転技術とドローンによる配送技術の導入を考えております。

(2)新技術の導入により解決したい都市の課題

※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ	課題の分類
<ul style="list-style-type: none"> ・交通モビリティを導入することにより、地域交通網を整備し、高齢者等移動弱者の移動手段を確保し、通院、買い物などの利便性を図ることが必要である。 ・高速通信環境を充実させ、IoT技術による高速自動走行車両などを活用し、観光誘客により地域の特産品などの販売を促進し地域の活性化に繋げるため、二次交通のインフラ整備が必要である。 ・高齢者等移動弱者や買い物弱者対策として、ドローンを導入することにより、買い物の配送・物流の確保が必要である。 ・富士川町は中山間地域であり、自然災害等発生時には、孤立集落が発生する可能性があります。そこで、孤立集落への救援物資の搬送・配送に、ドローンを活用した支援が必要である。 ・高齢化が進み、介護との連携から在宅医療、遠隔診療の需要が増加傾向にあるが、対応している医療機関・医師が不足している。 	(ア) (ウ) (オ) (カ) (コ)

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

- ・町内の全域に、高速通信エリアを拡大し、官民一体となって通信環境を整備していきたい。
- ・自動走行車等の町内の交通手段の情報を一元化し、人や物の最適な移動を実現していく。
- ・高齢者等移動弱者、買い物弱者対策としてドローンを活用した、買い物の配送・物流を実現していく。
- ・ドローンを導入し、災害発生時には、救援物資の配送・搬送、また災害の被害状況の確認等に活用する。
- ・電子カルテの情報を利用した医療機関や在宅医療の効率化を進め、更には普段の健康づくり支援や見守りなどに活用する。
- ・生活の移動手段として、点在する集落から医療施設、商業施設、交通結節点に効率的に人を運ぶため、ラストマイル交通と基幹的な交通とを組み合わせたシームレスな移動手段等を検討する。

(4) 解決の方向性(イメージでも可)

- ・交通モビリティを導入することにより、地域交通網が整備され、高齢者等の移動弱者の移動手段を確保し、通院、買い物などの利便性が向上する。
- ・自動走行車両を導入することにより、点在する地域の人と人が繋がり、地域コミュニティが広がる。
- ・ドローンを活用し、買い物の配送・物流の確保、災害発生時には救援物資の搬送に対応することができる。
- ・IoT技術により、自動走行車両などを活用し、観光客を目的地まで迷うことなく案内ができ(観光誘客)、更には地域の特産品などの販売により地域の活性化に繋がる。
- ・IoT技術を活用し、医療機関同士でカルテの共有が可能となり、どの医療機関でも適切な診療、治療ができる環境が整備され、在宅医療の需要に対応することができる。

(5) その他

- ・富士川経済同友会ではスマートシティ官民連携プラットフォームへ参画することにより、「スーパーシティ」構想の実現に向けて、高速通信回線のインフラ整備を行政に働きかけ、5Gを活用した富士川町の新しい生活様式を構築し、高齢者等移動弱者の更なる生活の利便性向上を目指していきたい。
- ・高速通信回線を活用し、中山間地域の居住者並びに高齢者等移動弱者と医療機関を繋げ、在宅医療、遠隔診療の実現を目指していきたい。

※先行してシステム導入を行いたい地域や、既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、(5)にご記入ください。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
富士川経済同友会	大木興一	0556-22-2330	yamanashi.feed@gmail.com